

**インフォシスの新規プラットフォーム [BigDataEdge](#)：
企業のインサイト(洞察力)スピードを8倍早め、
リアルタイムに近い意思決定と実行を実現**

ニューヨーク(2013 年 2 月 20 日)：インフォシスは、本日、複雑なビッグデータ分析作業をシンプルにして関連情報を検索する [BigDataEdge](#) 製品を発表しました。業務ユーザー側に権限委譲をすることにより、膨大な量の構造化データおよび非構造化データの両方から迅速にインサイトを開発することで、ほぼリアルタイムでビジネスに関する優れた意思決定を下すことが可能です。インフォシスの BigDataEdge 製品を利用すれば、情報抽出の所要時間が約 40%短縮し、インサイトを導き出す時間が 8 倍迅速化します。

インフォシス BigDataEdge の機能：

- 50 以上のカスタマイズ可能なダッシュボードと 250 のビルドイン・アルゴリズムを備えた直観的なインターフェース。業務チームは、業界や分野独自の再利用可能なビジネス・ルールから構成されるアルゴリズムに基づいて、最小限の技術的な操作によって、セルフサービス方式でインサイトを導き出すプロセスを構築することができます。
- 約 50 のデータ・ソース・コネクタにより、企業内外のソースに存在する構造化および非構造化データに容易にアクセス可能です。その結果、現在あまり利用されていないデータから関連情報を発見することができます。
- 強力な collaboration wall (当製品の画面名称)と既製のワークフローにより、複数のチームがインサイトに関するコミュニケーションに参加し、共同で意思決定を実現することが可能です。
- 論理的データ・ウェアハウス：仮想上のデータ管理アーキテクチャにより、インサイトの構築とテストのために物理的なデータを用意する必要がなくなります。
- 「設定不要な」アプリケーション：不正の検出と予防、予測分析とモニタリング、顧客マイクロ・セグメント化など、特定業界のニーズに対応し、投資回収率を向上します。

新プラットフォーム発表に関する当社バイスプレジデント兼クラウド事業部グローバル・ヘッドのビシュヌ・バットのコメント：「今日の企業には、自らの周りに溢れる無数のデータを理解するためにとてつもない時間を費やす余裕はありません。ビッグデータや分析に関する当社の豊富な研究および開発能力、そして実証済みの経験を結集して開発されたインフォシス BigDataEdge は、お客様がより早くデータを、収益に結びつく価値ある物へと変換できるようにします。この独特なプラットフォームにより、既に 10 社の世界的企業が僅か数日で実用的なインサイトを得て、それらに基づいた効果的な実行計画を第 1 日目から実行することに成功しています。」

ご推薦メッセージ

オラクル® データ・ウェアハウジング／ビッグデータ・テクノロジーズ部バイスプレジデントのセティン・オズブタン氏:「ビッグデータは、より優れた意思決定を下すために必要な敏捷性と洞察を当社の顧客に提供することができます。インフォシスは、オラクルのビッグデータ・ソリューションや業界をリードするオラクルのデータ・ウェアハウジングおよび分析関連プラットフォームに必要なスキルを提供できることを示しました。インフォシス BigDataEdge プラットフォームは、Oracle® Big Data Appliance および Oracle® Exadata Database Machine を活用して当社のお客様が洞察を集め、精査し、分析した後にそれらに対して行動を起こして、お客様が投じたビッグデータへの投資に対するリターンを素早く得られるようにします。」

Cloudera コーポレート／ビジネス・デベロップメント部バイスプレジデントのティム・スティーブン氏:「ビッグデータ時代の今、実用的なインサイトが本当の競争上の優位性となるためには適時性とコスト効率性の両方を備えていることを企業は求めます。インフォシス BigDataEdge ソリューションは、Cloudera が誇る業界トップのテクノロジーをフル活用して構造化および非構造化データ資産の処理を可能にして、企業が実用的な洞察をリアルタイムで容易に得られるようにします。」

ガートナー リサーチ部バイスプレジデントのマーク・ベイヤー氏:「Logical Data Warehouseは、従来のリポジトリ・ウェアハウスと代替データ管理／アクセス戦略それぞれの強みを融合した新しいデータ管理アーキテクチャーです¹。Logical Data Warehouseこそビッグデータ対策の答えであり、企業はこのアプローチを採用するビッグデータ・プラットフォームを選ぶべきです。²」

Constellation Research プリンシパル・アナリスト兼 CEO レイ・ワン氏:「企業の注目がリアルタイムから正しいタイミングへとシフトしだすと、企業は経営判断を下すために重要な洞察を求めるようになります。ビジネス価値をもたらすためには、ビッグデータは関連性を持ち、状況に見合ったものでなければなりません。ビッグデータ・ハブの登場は複雑性の低下と関連性の改善を実現する数多くの主要ソリューションの中の一つであると Constellation は見えています。」

1. Gartner“Hype Cycle for Information Infrastructure, 2012”著者マーク・A・ベイヤー、ロクサン・エドジャリ(2012 年 6 月 21 日発行)

2. Gartner“Understanding the Logical Data Warehouse: The Emerging Practice”著者マイク・ブレチャー(2012 年 7 月 31 日発行)

その他のリソース

- BigDataEdge ローンチ・イベント [サイマルキャスト](#) (開始時間: 米東海岸時間 6PM / インド時間 4:30AM / グリニッジ標準時間 11PM) をご覧になる場合はリンクをクリックしてください。サイマルキャストの録画
- BigDataEdge [インフォグラフィック](#) をダウンロードする場合はリンクをクリックしてください。
- BigDataEdge [ブローシャー](#) をダウンロードする場合はリンクをクリックしてください。
- インフォシス BigDataEdge [ビデオ](#) をご覧になる場合はリンクをクリックしてください。
- インフォシス・ビッグデータ・[ブログ](#) はここをクリック。

当社について

当社はグローバル企業の革新主導型成長を支援することで Forbes 社による「最も革新的企業 100 社」の 19 位にランクされています。当社は次世代型のコンサルティングからテクノロジー、エンジニアリング、アウトソーシングまで幅広いサービスを提供して世界 30 カ国以上のお客様に目標実現のお手伝いをしています。当社 (NASDAQ: INFY) に関する詳細は当社 web サイト(www.infosys.com/jp)をご覧ください。の上、15 万人以上の社員による Building Tomorrow's Enterprise の実現をご確認下さい。

セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、当社の将来的な成長を予測するものであり、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、収益の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクについては、2011 年会計年度 (2012 年 3 月 31 日付) 年次報告書 (Form 20-F) や 2012 年第 1 四半期 (2012 年 4 月 - 6 月期)、2012 年第 2 四半期 (2012 年 7 月 - 9 月期)、2012 年第 3 四半期 (2012 年 10 月 - 12 月期) の各四半期報告書 (Form 6-K) を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、当社により随時発表された将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問合せ先**インフォシスリミテッド 日本支店**

安藤 穰

03-5545-3251

Jo_ando@infosys.com